

浦河町

浦河郡浦河町

面積：693.3km²

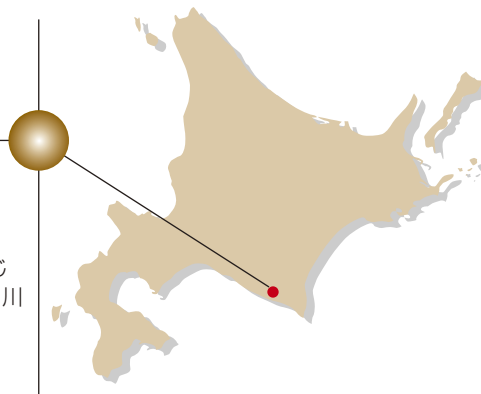
人口：16,713人（平成11年2月末現在）

町の木：日高五葉松 町の花木：日高やまつつじ

町名の由来：アイヌ語の「ウララベツ」（霧の深い川）の意）から転訛

ホームページ

<http://www.hokkai.or.jp/urakawa/>



浦河町

立嶋 喜佐男

企画課長

「感動とふれあいのまち」をめざして

浦河町は、北海道でも松前地方に次いで古くから開けた地域の一つで、日高山脈と太平洋に囲まれているため、海洋性気候の影響を受けて夏は涼しく冬は温かい、自然環境に恵まれた町です。

開拓当時から、昆布をはじめとする物資の集散地として賑わい、今でも水産業と農業が産業の中心となっています。

また、町内には約300の牧場があり、長寿日本一を達成した五冠馬シンザンをはじめ四冠馬ミスターシービーなど幾多の名馬を輩出しているサラブレッドの主産地でもあります。

このような中で、新しい街づくりに向けて活性化を図っている浦河町の近況をご紹介します。



太平洋に臨む浦河町市街地

新しい顔づくり「ふれあいの道」

浦河町の中心市街地を大通地区といいます。地形上の制約もあって、幅員がきわめて狭い国道沿いに1.2の商店街が形成されていました。側溝を兼ねた歩道上を電柱をよけながら人がやっと思き来するような街でした。このため昭和50年頃から市街地の山側にバイパスを通す計画が立てられ、調査が進められていましたが、地元では道路事業にあわせて衰退しつつある商店街の近代化を

図ろうという気運が盛り上がり、現国道の拡幅整備を強く要望しました。その結果現道拡幅が実現し、平成元年度には北海道開発庁が創設した「ふれあいの道」事業にも指定されました。

大通地区では、国道の拡幅整備にあわせて、沿線の景観に統一感を与え、活気のある生き生きとした浦河らしい街並みをつくりあげるため、まちづくりルール（建築協定）を定めています。電線類の無柱化や道路境界から1mの壁面線後退、建物の形状・色彩、看板、オープンスペースの統一など通りをあげての協力により、見違えるような歩行者空間が実現しました。

また、中心市街地には市街地再開発事業を導入し、総合文化会館・図書館（公共施設）、地元資本によるショッピングセンターと大型店によるショッピングセンター、都市型ホテルが一体となった複合施設を合築し、相乗効果により集客力を高めるとともに、魅力あふれる中心市街地として再生が図られています。

優駿のふるさと

昨年4月にオープンした浦河優駿ビレッジ「AERU」は、107haの広大な敷地を擁する日本最大級の乗馬リゾート施設です。

春ともなると、雄大な日高山脈を背景に、約3,000本、3におよぶ桜並木の向こうに、ヨーロッパのお城のような「AERU」が緑のまきばに囲まれて姿を現します。

施設内では、1分50円で初心者も気軽に乗馬体験ができますし、上級者には日本離れた風景の中で20のホーストレッキングを楽しむことができます。小動物とふれあう「子供広場」や、ローラースライダーや各種遊具がある「わいわい広場」、親子連れで昔の遊びを楽しむ「おもちゃ館」、



「AERU」で馬に会える

さらに日高山脈を一望できる展望大浴場など、一日中楽しく遊べること請け合いです。

リゾートホテル級の宿泊施設も完備し、大学等の合宿もできる長期滞在型の団体向け宿泊棟もあります。昨年からは温泉ボーリングにもトライしており、今年の秋ごろには、AERUがめざす“やすらぎとふれあいの空間”が一層広がろうとしています。

馬との新たなふれあい

身体障害者療護施設「浦河わらしべ園」では、国内で初めての「乗馬療育」を実施しています。これは、馬とふれあうことにより、障害者の方々の情緒安定等を図りながら機能を回復させようというもので、昨年4月にはインストラクターの養成学校も開校されました。「馬」が福祉の面で活用され、地域振興にも役立っている馬産地・浦河ならではの試みです。

「ふれあいの道」事業とまちづくりルールで面目を一新した大通地区



谷川町長を先頭にプリティッシュ・スタイルできめた野塚トンネルの「通り初め」

道路が結ぶ交流と連携

明治以来の悲願でありました日高管内浦河町と十勝管内広尾町を結ぶ国道236号（天馬街道）は、日高山脈を貫く道内最長の野塚トンネル（4,232m）の完成により、平成9年9月25日全線開通しました。

浦河～帯広間は距離で約30、時間で約50分短縮され、冬期間も安全性が高く、道央～道東間の新しい動脈として物流・観光面に期待されています。

開通に合わせたフェスティバルでは、馬産地らしく約40頭の乗馬により「通り初め」も行われました。実行委員会では開通効果を一層高めようと今年もイベントを計画しています。

近隣では、えりも町の風の館、様似町のアポイ山荘、三石町の海浜公園等も完成し、広域観光に向け連携を深めています。

昨年、起点の苫小牧側が開通した日高自動車道が一日も早く終点の浦河に到達するのを地域をあげて待ち望んでいます。

